

川崎競馬経営計画 (改定版)

はじめに

- 神奈川県川崎競馬組合では、安定的な運営の継続、強い馬づくりや入場者数の拡大に取り組むため、令和2年3月に「川崎競馬経営計画」を策定し、令和2年度から5年間の経営の指針とすることとしました。
- しかしながら、新型コロナウイルス感染症により、川崎競馬においても無観客競馬や入場者数を制限した形での開催を余儀なくされ、勝馬投票券の発売も本場や場外発売所から在宅投票に大きくシフトしたところです。
- 当初の計画では「にぎわいのある競馬場づくり」に取り組むこととしていましたが、競馬場においても「三つの密」が生じない環境が求められていることから、このたび、競馬ファンが安心して楽しめる新しい生活様式に対応した競馬場づくりに転換するとともに、中期財政見通しなどの見直しを内容とする計画改定を行いました。

令和3年3月
神奈川県川崎競馬組合

1 川崎競馬経営計画の内容

1 計画期間

令和2年度から6年度までの5年間

2 経営目標

- (1) 公正な競馬を着実に実施したうえで安定的な運営を継続することにより、毎年度の単年度黒字を達成し、経営基盤強化のための基金を積み立てるとともに、構成団体への配分金を安定的に繰り出す。

〈6年度の数値目標〉

・勝馬投票券売上金	川崎競馬開催の売上総額	920億円 (元 760億円)
	地方競馬受託場外発売額	508億円 (元 290億円)
	(南関受託場外売得金及び広域併売売得金)	
	JRA受託発売額 (WINS川崎発売額)	87億円 (元 308億円)
・構成団体への繰出金		21億円 (元 5.4億円)
・不祥事ゼロ	(職員及びきゅう務員等競馬関係者による不祥事 及び禁止薬物陽性馬の発生、放馬事故等)	0件 (元 0件)

- (2) 競走馬の一層の確保、きゅう舎等飼養環境及び走路等調教環境の整備、きゅう務員の確保について着実に取組みを実施することにより、川崎在きゅう頭数を増やし、強い川崎所属馬をさらに輩出していくことで、競馬ファンを魅了するレースの施行及び新たな競馬ファンの獲得に繋げる。

〈6年度の数値目標〉

・川崎在きゅう馬頭数		560頭 (元 510頭)
・重賞成績	川崎在きゅう馬のダートグレード競走入着頭数	7頭 (元 5頭)
	川崎在きゅう馬の南関東重賞競走勝利頭数	12頭 (元 9頭)
・川崎競馬所属きゅう務員1人当たりの持馬数		2.8頭 (元 3.0頭)

(注) (元) は元年度の実績見込を示す。ただし、勝馬投票券売上金の元年度は2月現計予算額を示す。

- (3) 新しい生活様式に対応した安心・安全な環境を整備するとともに、戦略的な広報・ファンサービス等により、競馬ファンが快適に楽しめる川崎競馬をめざす。また、構成団体や県内市町村、地元企業等との連携・協調を推進して、地域社会から愛され、親しまれる川崎競馬場を確立する。

2 経営目標を達成するための主な取組施策

(1) 売上の維持

- ファンに分かりやすい開催日程の確保
- 在宅投票の拡大
- 専用場外発売の継続
- JRA受託発売の拡大
- 魅力ある競馬の開催・競走番組の充実
- 海外主催者等との連携強化

(2) 安定的な運営の継続

- 運営体制の強化
- 職員の資質向上
- 経費の削減及び歳入の確保
- 基金の積増し
- 構成団体への配分金の繰出し
- 畜産振興への寄与
- 馬主会・調教師会等の関係団体との連携強化

(3) 公正かつ安全な競馬の開催

- きゅう舎地区の公正の確保
- 放馬事故対策の強化
- 公正確保の意識の徹底
- 施設・設備整備
- 災害等への対応策の強化
- 来場者の安全確保
- ギャンブル等依存症対策の実施

(4) 強い馬づくり

- 競走馬の一層の確保
- きゅう舎等飼養環境及び走路等調教環境の整備
- きゅう務員の確保
- きゅう務員及び騎手の育成

(5) 競馬を快適に楽しめる環境づくり

- 戦略的な広報の展開
- ファンサービスの充実
- 安心・安全で快適な場内環境の整備
- ファン対応に関わる意識向上

(6) 地域社会との連携・協調の推進

3 中期財政見通し

以上の取組を踏まえて、当面4年間（令和3～6年度）の財政収支を見通すと、次のとおりである。

（単位：億円）

区 分		元年度 (決算額)	2年度 (2月現計)	3年度	4年度	5年度	6年度
歳入	川崎競馬勝馬投票券売上金	765	920	920	920	920	920
	地方競馬受託場外発売業務受託収入	39	60	57	57	57	57
	J R A 受 託 発 売 収 入	16	1	2	5	5	5
	設備等整備基金取崩し額	17	8	2	10	10	3
	前年度からの繰越金	27.1	24.5	—	—	—	—
	そ の 他 収 入	10	8	7	7	6	6
	合 計	874	1,021	989	999	998	991
歳出	払 戻 金	566	685	685	685	685	685
	地方競馬全国協会交付金	11	13	13	13	13	13
	地方公共団体金融機構納付金	4	8	7	7	7	7
	そ の 他 経 費	214	230	248	263	262	255
	設備等整備基金積立金	40	10	10	10	10	10
	経営安定化基金積立金	10	15	5	—	—	—
	構成団体繰出金	5.4	60.3	21.0	21.0	21.0	21.0
	合 計	850	1,021	989	999	998	991
実 質 収 支	24.5	—	—	—	—	—	

（注）1 歳入、歳出ともに、各項目を四捨五入しているため、合計は符号しない。なお、一部項目は、年度別の推移をより明確にするため、億円未満を表示している。

2 令和3年度以降の金額のうち、上段は現行計画、下段は改定計画による推計額。

<推計与件>

1 歳入

- 2年度は2月現計予算額、3年度は当初予算額とする。
- 令和4年度以降の推計
 - ・川崎競馬勝馬投票券売上金は、令和3年度当初予算と同額で見込む。
 - ・J R A 受託発売収入は、発売レース数の復元による増を見込む。
 - ・設備等整備基金取崩し額は、設備等整備計画に連動させて推計。
 - ・前年度からの繰越金は見込んでいない。

2 歳出

- 2年度は2月現計予算額、3年度は当初予算額とする。
- 令和4年度以降の推計
 - ・払戻金、地方競馬全国協会交付金及び地方公共団体金融機構納付金は、川崎競馬勝馬投票券売上金に連動させて推計。
 - ・設備等整備基金積立金は、毎年10億円の積立てを見込む。
 - ・構成団体繰出金は、安定的に繰り出せる額を見込む。